

校内研修計画書

1 学校名 高山村立高山中学校

2 校長氏名 石関 博之

3 研修主任氏名 剣持 好司

4 令和2年度の研修について

(1) 主題 「一人一人が見通しをもって生き生きと学ぶ授業づくり」

～ユニバーサルデザインの視点を活用し、生徒が「分かる」授業の工夫を通して～

(2) 成果と課題

昨年度の成果としては、全職員でユニバーサルデザインの「焦点化・視覚化・共有化」という3つの視点を意識して授業改善に取り組めたことや校内研修を通して手立てが共有化され、授業におけるICTの活用が増えてきたことが挙げられる。課題としては、生徒一人一人が見通しをもって主体的に学ぶための個々への支援やICTを授業の中でどのように活用するかという研修の必要性が挙げられた。

5 令和3年度の研修計画

(1) 分野 学習指導

(2) 主題 「主体的に学ぶ生徒の育成」

～ICTを目的や場面に応じて効果的に活用した授業づくりを通して～

(3) 主題設定の理由

本校の課題として、見通しをもって主体的に学ぶことの難しい生徒がいることや、導入された一人一台端末の授業における活用に関する教師側の研修が不足していることが挙げられる。

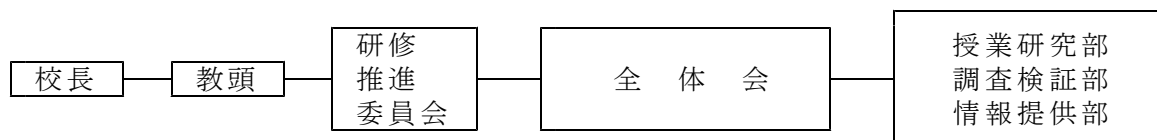
これらの課題を解決するために、主体的な学びを促すためにICTをどのように活用すればよいかという視点で研修を進める必要があると考えた。

そこで、今年度は研修主題を「主体的に学ぶ生徒の育成」とし、副題は「～ICTを目的や場面に応じて効果的に活用した授業づくりを通して～」とした。昨年度の校内研修の取組から得られたユニバーサルデザインの視点を生かしながら、さらにICTの効果的な活用方法について研修を積み重ねて、主体的に学ぶ生徒の育成を目指したい。

(4) 研修内容及び方法

- ① ICTを目的や場面に応じて効果的に活用した実践の共有を通して、教師のICT活用指導力の向上を図る。
- ② 計画訪問や一人一授業等を通して教師が互いの授業を見合い、授業改善の推進と効果ある指導方法の研究を深める。
- ③ 主体的に学ぶ生徒の変容や教師のICT活用状況について、研究の前後で比較検証する。

(5) 研究組織



(6) 年間計画

| | |
|-----|--|
| 4月 | ・昨年度の研修の振り返りと今後の展望（全体会） ・研修の方向性の確認（全体会） |
| 5月 | ・研修組織の確認（全体会） |
| 6月 | ・指導主事計画訪問 ・ICT活用方法の共有 |
| 7月 | ・一人一授業の計画 ・ICT活用事例研修 |
| 2学期 | ・一人一授業の実施 ・授業研究会 |
| 3学期 | ・研修の成果と課題の確認 ・研究紀要作成 ・研修の発表 ・次年度の研修へ向けた検討 |